

「VICTORY！」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグチームのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい、そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ

アマチュアプレイヤーの熱意が全国リーグ実現への時計の針を進めた。～Fリーグの過去・現在・未来～

湘南ベルマーレフットサルクラブで最年長のNo.15 関 新選手。

Fリーグ設立前の試行錯誤の日々。フットサルに賭ける熱い想い。

Fリーグのこと、チームのこと。ベテラン選手ならではの苦労話も満載！

フットサルを知らない人にもわかりやすく、その魅力を話してもらいました。(インタビューは1月12日に実施)

「Fリーグ(日本フットサルリーグ)」について、簡単に教えていただけますか？

Fリーグは2007年に日本サッカー協会によって創設されたフットサルの全国リーグです。現在、日本各地にある10チームが総当りのリーグ戦を行い順位を競っています。「湘南ベルマーレフットサルクラブ」もそのなかのひとつです。Jリーグとは違って、8月に開幕、年をまたいで2月までが1シーズン。ひとつのチームと3回試合をする3クルール制で、今は第3クルールの中盤です。Fリーグにはホーム&アウェイのほかに各クルールの最初に全チームを1会場に集めて試合を行う「セントラル」があるのも特徴ですね。サポーターのみなさんも自分が応援しているチーム以外の対戦が見られて面白いし、盛り上がりやすい。

「フットサルもJリーグと同じプロ選手なのですか？」

完全にプロチームなのは「名古屋オーシャンズ」だけ。ずっと優勝しているチームです(第22節に今季の優勝も決定)。そのほかのチームの選手はほとんど働きながらプレーをしています。ベルマーレの選手もそうです。チーム得点王のボラ選手も、ベルマーレのフットボールアカデミーでコーチの仕事をしているんですよ。ほかの選手もスクールのコーチや関連施設の職員、フットサルのファッションブランドなどフットサル関係の職場で働いています。あとはチームスポンサーの鈴廣かまぼこさんやアクアクララ湘南さんで働いている選手もいます。午前中はフットサルの練習、午後からそれぞれの職場で仕事。ほかの従業員の方たちとは違う勤務時間だったり、試合遠征のために休んだりしなければならぬので、会社や職場のみなさんにご理解いただいて、働かせてもらっています。みなさんの協力なしには成り立ちません。僕は以前勤めていた会社で経理の経験があったので、湘南ベルマーレで経理の仕事に就いています。職場のみんなは選手という立場をわかりすぎるほどわかっているんで、選手としての活動を最優先に考えてくれて、遠征で会社を空けるときも早く送り出してくれます。ただ経理というのはとても責任ある仕事で、経理が滞ると会社全体が動けなくなってしまいます。ですから練習と仕事をうまく両立させて、どちらも手を抜かずにできるように心がけています。

「忙しいのですが、関選手の一日のタイムスケジュールを教えてくださいませんか？」

朝は、7時起床。練習場である小田原アリーナに行くと9時から12時まで練習。一度家に帰って、食事をすませてから出勤。だいたい午後2～3時に出勤して夜9～10時まで仕事。帰宅して11時すぎには寝るようにしています。夕食は妻が弁当を作ってくれるので、事務所で7時頃食べています。仕事が終わってからでは遅くなって太ってしまうので、

「ベルマーレに入団するまでの経歴を教えてください。」

高校まではずっとサッカーをしていました。プロ選手になることを目標にしていたのですが、それは叶わず、大学に進学してフットサルを始めました。今から15年くらい前のことです。まだ一般にはほとんど知られていなくて、フットサル場もわずか。競技というよりは「ミニサッカー」としてレクリエーション的な認識しかありませんでした。自分たちで作ったチームで、仲間とお金を出し合って練習場を借りたり用具を揃えたり。技術も戦術もすべて手探りの状態で、すでにプロチームがあったブラジルやスペインの情報をなんとか仕入れ、そのわずかな情報をもとに試行錯誤するしかなかっ

たですね。夜の練習が終わるとみんなでファミレスに行って、コーヒークリームをボールや選手に見立てて深夜2時3時まで戦術を練る。翌日は学校、社会人の人は仕事に行き、夜にはまた集まって練習。そんなことを繰り返していました。大学を卒業して東京で就職してからもそんな生活は続きました。日系ブラジル人のすごい選手がいる、という噂を聞きそのプレーを見に行くと、サッカーとはまるで違う動きをしている...その技術を盗んで自分たちの形に取り込んでいきました。そのうちチームはだんだん力をつけていき、アマチュアの全日本選手権で優勝を狙えるチームに成長していったんです。未知数だったけれどチャンスも多く可能性もひろがっている時代でした。各地で同じようなアマチュアチームが活動を続ける中で、試合を見に来てくれるお客さんがだんだん増えていきました。今でもその世代の選手たちとは、共通の意識をもった戦友みたいな感覚があります。

「そこでFリーグができたんですね。」

考えていたよりはるかに早かったです。自分が現役のうちに全国リーグができるなんて思っていなかった。うれしさの反面、戸惑いもありました。お客さんを呼ぶことはできるのだろうか、経営は成り立つのだろうか...でも僕たちが現場でフットサルの楽しさ・面白さを広めていた一方で、Jリーグ、ワールドカップが盛り上がり、サッカーが日本のスポーツ文化の一つの柱として認められたことが大きく影響して、日本サッカー協会などの組織を動かしていたんですね。サッカーの弟分としてフットサルに興味を持つ人や自分でもプレーしてみたいと思う人が予想以上に増えていました。

2007年Fリーグが設立されたとき、ぜひ全国リーグに挑戦したいと思ってそれまでの会社を辞め、湘南ベルマーレに入団したんです。仕事も最初は馬入の管理棟で働いていました。2年めから現在の経理の仕事をしています。

「『フットサル』の試合の魅力はなんでしょう。」

サッカーと違ってコートが小さいのでゴールも近いから得点にからむシーンが多いというのは、見ていて面白いと思いますよ。観客席との距離も近いので、スピード感を間近に体験できます。攻守の切り替えが速いのもフットサルならではの展開が速いので一瞬の判断の遅れが命取りになります。1秒で決めることもあれば、1秒でやられることもある。お客さんもちょうと目を離すと得点シーンを見逃してしまいますよ。

「湘南ベルマーレのチームの特徴、関選手の役割やプレーの見どころを教えてください。」

ベルマーレはとても攻撃的なチームです。メンバーもみんな特徴のある選手ばかり。その局面局面でそれぞれの選手が自分の持ち味を生かしてアグレッシブな輝きを見せるので、自分たちがあります。僕はALAという中盤で攻撃的なポジション。サイドからスピードを生かして突破し、チャンスを作るのが仕事です。どんなに仕掛けていって得点にからみ、みなさんがエキサイトできるようなプレーを見せたいですね。

チームの中では自分から引っ張っていくタイプではないのですが、いろいろな選手と積極的にコミュニケーションをとることを心がけています。年下の選手からは、声をかけにくいと思ってやっているのですが、うちのチームはみんな生意気なやつばかりで、年上だろうと先輩だろうと気にしないみたいです。よく突っ込まれたり、いじられたりしています(笑)でも先ほど話したようなFリーグ以前のことを思ったら、い



15
Arata SEKI

まの環境がどれだけ恵まれているかわかりません。若い選手には、そういう経験を伝えていきたいと思っています。

「これからFリーグについてどのように考えていますか。」

現在のフットサルの選手はほとんどサッカー出身です。でも今の子どもたちはFリーグを見て育ち、フットサルから始めたり、サッカーと両方やっている子も多い。その子たちが選手になる世代になったときにどうなっているか。選手がフットサルだけに専念できるような安定した環境が整っているといいですね。時間はかかると思いますが、そういう方向に進んでいけば若い選手の希望になるし、子どもたちの目標にもなりますから。

いろいろな夢や可能性を抱いた子どもたちが、いま僕らの試合を見に来てくれるというのは、自分が思っていた以上に責任のある、重要な立場にいるんだと実感しています。

「最後に読者のみなさんにメッセージをお願いします。」

湘南ベルマーレには、選手とサポーターの間に垣根はありません。気軽に接してほしいし、僕たちもそうしていきたいと思っています。

今季も厳しい戦いが続いています。残り試合と全日本選手権に向けてチームは丸となって集中し、練習のときから以前と違った意気込みや手ごたえを感じています。昨年、選手権では準優勝しているので、今年はぜひ優勝を狙っていきたい。それにつながる残りのリーグ戦も大切です。選手を後押ししてくれるみなさんの声援をよろしくお願いします。

◆Fリーグ 2010-2011 ホームゲームスケジュール

第25節 2月6日(日)17:00 vs. 府中アスレティックFC
第27節 2月20日(日)14:00 vs. 名古屋オーシャンズ



No.15 関新(せき あらた)
2007年入団 ポジション/ALA
1977.5.9 生まれ 出身/東京都
160cm/60kg

家族は奥さんともうすぐ3歳になる長男。「ホームゲームは必ず見に来てくれます。最近ボールを蹴って遊んでいる息子の記憶にすっかり残るくらいまでは、現役でプレーしたい」という関選手。好きな食べ物は揚げ、カレーライス。「カロリーの高い、子どもみたいなものが好きなんです。でも最近は、大人の味も...刺身や牡蠣などの海鮮物の美味しさがわかるようになりました。妻は食事にずいぶん気を使ってくれます。練習のあとの昼食には、栄養のバランスを考えてたくさんメニューが食卓に並ぶんです。家族の支えなしにはやっていけません。」

サポーター's VOICE



小田原アリーナの近くにお住まいの中村さんファミリー

ずっとベルマーレを応援しているというご主人。「選手が頑張っている姿を見ていると元気をもらっています。フットサルの魅力は、選手との距離感が近いこと。たとえ結果がなくても、苦しい中で戦う選手には感動します」。奥さんも試合だけでなく、小田原アリーナにサークル活動などで訪れるときは、チームの練習を見ていくそうです。「身近なチームだから自然と応援するようになりました。屋内なので小さい子どもがいても大丈夫。家族そろって観戦できるのもいいですね。」